



ばとんぱす



教職員等記事
(平成15年4月導入)

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本市中心区水前寺6丁目18番1号
Tel：096(333)2699
Mail：kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

公立中学校の部活動改革が全国展開しています

令和5年度から「休日の部活動」を段階的に地域移行

生徒の多様な学びや活躍の場として、教育的意義の高い部活動ですが、社会・経済の変化等により、これまでの運営体制の維持が難しくなっています。

そのため、令和2年9月に文部科学省等から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」として、生徒にとって望ましい部活動の環境構築と学校の働き方改革を考慮した部活動改革の推進を目指し、学校と地域が協働で行う部活動の実現方策などが示されました。

スポーツ庁は、運動部活動の地域移行を着実に実施するとともに、子供たちがそれぞれに適した環境でスポーツに親しめる社会の構築のため有識者等による「運動部活動の地域移行に関する検討会議」を開催しており、本年7月ごろに提言が取りまとまる予定です。

また、文化庁においても、同様の検討会議が行われ、令和3年3月に報告書としてまとめられています。



本県での取組状況

本県では、国の動向も踏まえながら部活動改革を進めていきます。

令和3年度は、地域移行後の指導者の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むために、南関町と長洲町で実践研究を行っています。

地域移行後のイメージ

平日はこれまでと同様に学校部活動、休日は、原則、地域部活動として、地域の指導者が指導に当たる方向で検討が進められています。（下表は、現段階での国が想定しているイメージです。）

	学校部活動（平日）	地域部活動（休日）
曜日	月曜日～金曜日	土曜日 日曜日 祝日
位置づけ	学校教育活動の一環	原則、地域のスポーツ・文化活動
指導者	教師等	地域の指導者

Q&A

Q 中学校の部活動は、令和5年度からなくなるの？

Q 休日のスポーツ大会等には、出場できなくなるの？

A 中学校の部活動は、令和5年度から**休日の部活動を段階的に地域移行**される予定です。部活動がなくなるわけではありません。

A 子供たちの大会参加の機会が損なわれないように、中体連等と調整が進められています。

詳しくは、スポーツ庁・文化庁HPで確認してね（QRコード、または、こちらから [→スポーツ庁](#) [→文化庁](#)）



この記事に関する問い合わせ先：体育保健課（096-333-2711）・義務教育課（096-333-2689）

地域が学校を元気にする！ 学校が地域を元気にする！ ～地域学校協働活動～

熊本県では、「地域とともにある学校づくり」のため、コミュニティ・スクール（CS）と地域学校協働活動の一体的な実施を推進しています。

地域学校協働活動とは？ 幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が**連携・協働**して行う様々な活動のことです。



参画



CS

地域主催の行事に、子供たちが学習の集大成として、ガイド役に挑戦。地域行事への参画の取組です。（天草市立楠浦小学校）

学校・家庭・地域・行政が一体となって子供を育てる「地域とともにある学校づくり」を推進。11月6日、「CSの日」の取組です。（氷川町）

この記事に関する問い合わせ先：社会教育課（096-333-2698）

「熊本の学び」研究指定校が研究発表会を行いました ～子供が問いを發し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める授業へ～

「熊本の学び」の理念の実現に向けて、令和2年度から3校が研究に取り組んでいます。11月～12月にかけて行われた発表会では、先生方の熱心な指導のもと、子供たちが生き生きと学びに向かう姿が見られました。

※【「熊本の学び」の理念】熊本のすべての子供たちが、「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します。

学力向上プロジェクト研究 天草市立本渡中学校（11/5）



「自ら『学び続ける力』の育成」をテーマに研究に取り組みました。理科の授業では、力の合成と分解に関する課題について解決の方法を予想することで、探究する意欲を高め、実験等で協働して解決に取り組む姿が見られました。

学力向上プロジェクト研究 八代市立第一中学校（11/26）



「『学びに向かう力』を備えた子供の育成」をテーマに研究に取り組みました。英語の授業では、タブレットを使って人気のある人物などを紹介したり、動画に撮って説明を確認したりしながら、分かりやすく伝えようとする姿が見られました。

キャリア教育研究 大津町立大津中学校（12/2）



教育活動全体を通じて、「解決する力」「見つめる力」「計画する力」「つながる力」の4つの資質・能力の育成に取り組みました。学級活動の授業では、積極的な話し合いによる合意形成、意思決定を行う姿が見られました。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2688）



幼・保等、小、中連携セミナー



県では、「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」及び「第2期くまもと子ども・子育てプラン」に基づき、毎年、認定こども園・幼稚園・保育所等、小学校、中学校等の関係者が一堂に会し、教育についてのお互いの役割を理解し合う研修を実施しています。

研修では、幼児の具体的な事例を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有し、幼児期に身に付けた主体性を小学校以降の教育へ繋げるため、校種ごとの役割を考える演習を行っています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）とは・・・

幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿



健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・
規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・
生命尊重

数量や図形、標識や文字
などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現



幼児の事例を読み、「10の姿」とのつながりについて考え、意見を共有し、気付きを出し合っています。



幼児期の学びや育ちをつなげていくために、幼・保等、小学校、中学校等でできることについて話し合い、発表しています。

参加者の感想



- ・遊びを通した学びの中に、小、中へのつながりの土台があることが分かった。
- ・子供の主体性をつなげていくという意識をもつことが、小、中学校の教職員に求められているということを受け止め、改めて幼・保等、小、中連携の大切さを感じた。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2689）

くまもとGIGAスクールプロジェクト中心校が授業公開

県下12市町村を拠点地域として指定し、ICTを活用した教育実践の普及・啓発を行ってきた「くまもとGIGAスクールプロジェクト」の中心校で授業公開が行われています。1人1台の学習用端末の活用を中心とした様々な授業が提案され、多くの先生方の学びの場となっています。「まずは使ってみる」からスタートした取り組みですが、全ての学校で子供たちの将来を見据えた学びが展開されるようこれからも支援してきます。



菊池市立菊池北小学校
(国語科の実践)



山鹿市立鹿北中学校
(社会科の実践)



益城町立津森小学校
(社会科の実践)



小国町立小国中学校
(数学科の実践)

【10月～12月に学校情報化優良校の認定を受けた学校】12月20日現在

菊池市立菊池小学校 (10/28)
菊陽町立菊陽北小学校 (10/30)
美里町立勸徳小学校 (11/8)
益城町立飯野小学校 (11/9)
県立小国高等学校 (11/22)
氷川町立宮原小学校 (11/22)
甲佐町立龍野小学校 (11/22)
山都町立清和中学校 (11/23)
菊池市立隈府小学校 (11/23)
美里町立砥用中学校 (11/27)
大津町立大津東小学校 (11/27)
あさぎり町立深田小学校 (12/1)

和水町立三加和小学校 (10/28)
県立鹿本農業高等学校 (11/3)
球磨村立渡小学校 (11/8)
氷川町立竜北中学校 (11/10)
県立大津支援学校 (11/22)
菊池市立泗水東小学校 (11/22)
菊池市立泗水小学校 (11/23)
県立人吉高等学校定時制 (11/23)
水俣市立水俣第一小学校 (11/25)
あさぎり町立免田小学校 (11/27)
氷川町立竜北東小学校 (12/1)

菊陽町立武蔵ヶ丘中学校 (10/28)
大津町立室小学校 (11/5)
県立芦北高等学校 (11/9)
菊池市立泗水西小学校 (11/12)
玉東町立玉東中学校 (11/22)
西原村立河原小学校 (11/22)
南阿蘇村立南阿蘇中学校 (11/23)
県立鹿本高等学校 (11/23)
天草市立河浦小学校 (11/26)
あさぎり町立岡原小学校 (11/27)
菊陽町立菊陽中学校 (12/1)

菊池市立泗水中学校 (10/28)
嘉島町立嘉島西小学校 (10/8)
八代郡氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校 (11/9)
南関町立南関中学校 (11/22)
玉名市立玉名中学校 (11/22)
菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校 (11/23)
南阿蘇村立南阿蘇西小学校 (11/27)
益城町立益城中央小学校 (11/27)
県立八代清流高等学校 (12/1)

この記事に関する問い合わせ先：教育政策課 (096-333-2673)

県立装飾古墳館の御案内

装飾古墳とは、古墳の石室や石棺に装飾文様を描いた古墳のことで、県立装飾古墳館には、県内の代表的な13基の装飾古墳の精巧なレプリカを展示しています。

また、装飾古墳に使われている石材と同じ硬さの石版に、古墳館で復元した顔料で装飾古墳の文様を描く「古代絵画教室」や「勾玉づくり」など、様々な体験メニューを企画しています。

装飾古墳館でのレプリカの見学や様々な体験をとおして、古代のロマンを感じてください。



千金甲1号墳内の石室 (レプリカ)



石版に描いた装飾古墳文様
(古代絵画教室参加者の作品)

この記事に関する問い合わせ先：装飾古墳館 (0968-36-2151)

歴史公園鞠智城さくらじょうを散策してみませんか

鞠智城は、約1350年前の飛鳥時代にヤマト政権が各地に築いた古代山城の1つです。当時の九州地方を治めていた「大宰府」を唐、新羅の侵攻から守るためにつくられたと考えられています。鞠智城は山鹿市と菊池市にまたがっており、面積は東京ドームおよそ12個分にもなります。城内には当時の遺構としては珍しい八角形建物など4基の復元建物を見ることができます。また、歴史的に貴重な銅造菩薩立像もみつかっており、温故創生館では発掘調査によって出てきた遺物やパネルの展示により鞠智城について学ぶことができます。そんな鞠智城の魅力を少しだけご紹介します★



魅力①

鞠智城では年間を通して様々なイベントを行っています



くまもと教育の日イベント

歩こうぜ！鞠智城フットパス散策～謎の石巡り編～

11月14日に、鞠智城フットパス散策を開催しました。鞠智城内には、たくさんの建物跡の礎石や当時の信仰に何らかの関係があったとされる石がたくさんあります。今回は、当館学芸員とともにその石たちの謎に迫りました。

鞠智城では、県の貴重な文化財である鞠智城について学ぶガイドツアーを定期的で開催しています。次回は1月と2月に草の少ない冬しか歩くことができない「土塁」にご案内いたします。ウォーキングや森林浴もできて一石二鳥ですよ♪



鞠智城シンポジウム

11月28日に、鞠智城シンポジウムを開催しました。第15回目となる今年のシンポジウムは、一昨年ぶりに有観客で開催することが出来ました。当日は佐藤信氏(くまもと文学・歴史館長)をコーディネータとして、吉村武彦氏(明治大学名誉教授)、永山修一氏(ラ・サール学園教諭)、和田晴吾氏(兵庫県立考古博物館長)、亀田学(熊本県教育委員会)がパネラーとなり、「古代の「辺要」支配と肥後・鞠智城」というテーマのもと熱心なパネルディスカッションが繰り広げられました。



魅力②

可愛いころう君に会える!?



鞠智城
イメージキャラクター
ころう君

第2・第4水曜日は
ころう君の
鞠智城での巡回日!
土日もたま～に
巡回しています!

ころう君の
スケジュールを
Check→

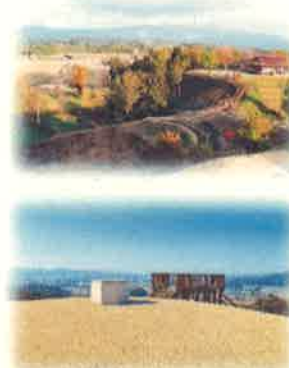


ころう君 Twitter
ころう君 YouTube



魅力③

四季折々の景色が見られる!



春は桜、秋は紅葉、冬は雪景色など四季折々の景色を楽しむことができます。散策路も綺麗に整備されているのでウォーキングにもぴったりです。春や秋は、お弁当を持ってピクニックもおすすめです。

この記事に関する問い合わせ先：歴史公園鞠智城・温故創生館 (0968-48-3178)